

想い合うVR

Perionoid

教育機関および自治体に対する
生理痛VR体験デバイスを用いた研修事業の
効果検証

大阪ヒートクール株式会社

事業概要・目的

女性の健康課題への理解を深め、相互理解による働きやすい環境を推進する。

課題認識

生理痛は、多くの女性が経験する一方で、その苦痛が個人間で共有・理解されることが少ない課題がある

技術・アプローチ

疑似的に生理痛を体験する技術“ピリオノイド”を用いて、女性の労働環境改善に寄与する研修を提供する

研修実施

1

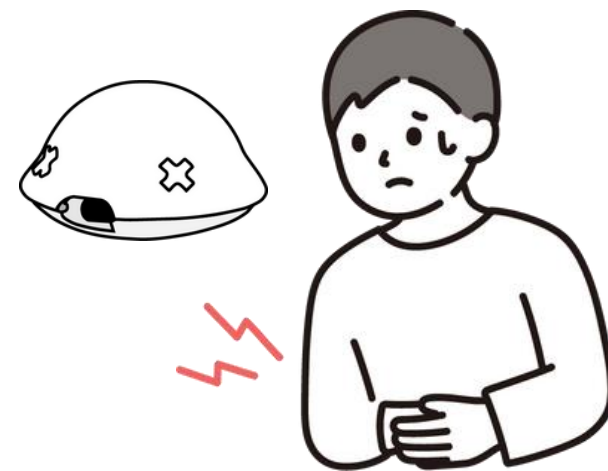
セミナー



生理痛含め女性の健康基礎知識、生理中の困りごとの紹介

2

生理痛体験



ピリオノイドを用いた生理痛疑似体験

3

ディスカッション



痛みについてのディスカッションを通して、働きやすい職場環境を考える

目標・効果

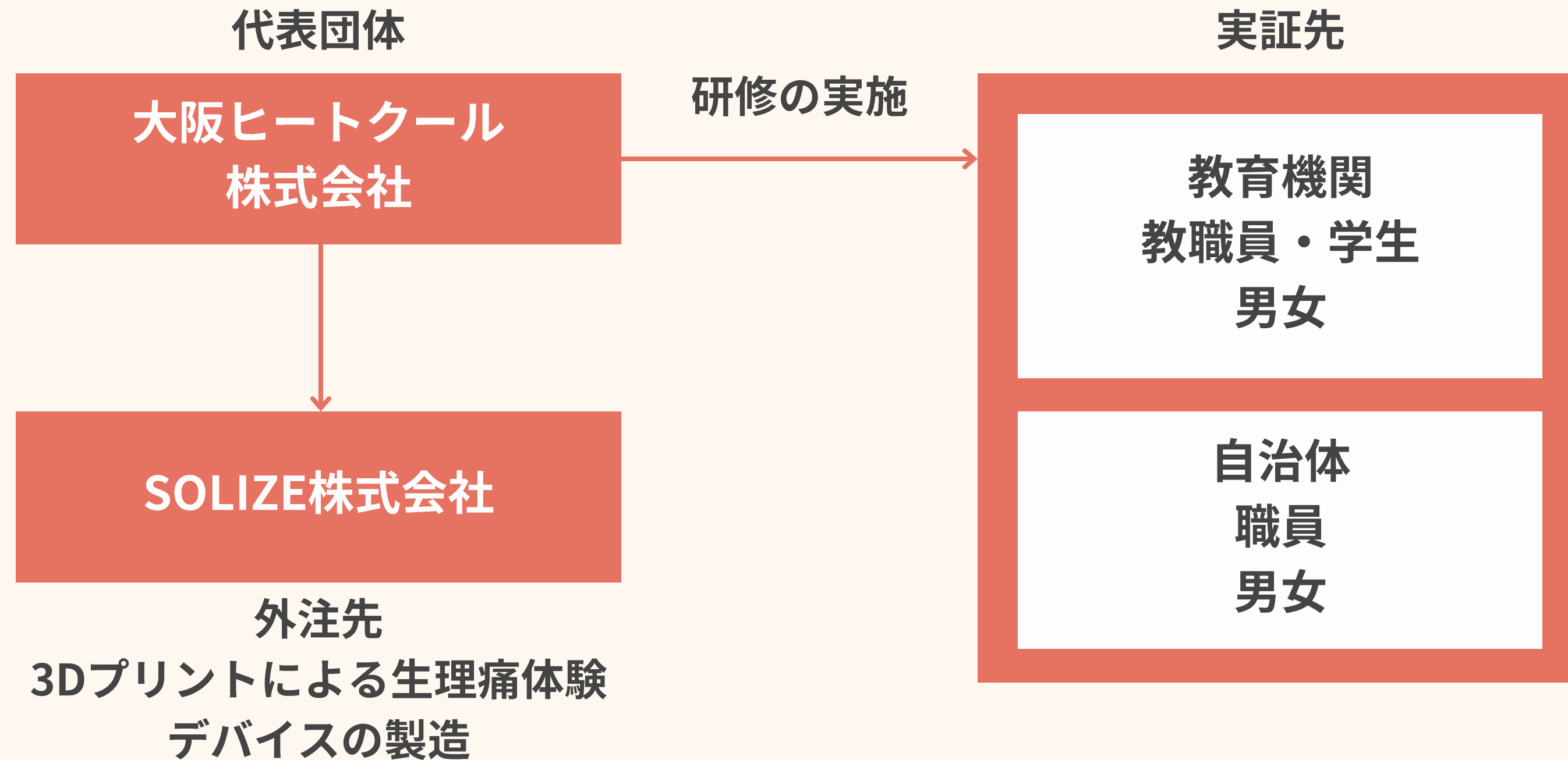
研修効果

生理痛への理解や共感を通して働きやすい環境を一人一人が考えていく機会創出

事業持続効果

機関の予算確保や実施許諾の課題に対し、研修の価値を伝えるための事例創出

実施体制



達成状況・成果



月	実施実績	実施予定	考察
9月	1件 教育機関 82名		体験中の対話が相互理解促進に寄与しているように感じた
10月	1件 教育機関 46名		企業研修と異なり、ディスカッション形式に慣れていない可能性があることを発見
11月	1件 教育機関 42名 1件 教育機関 54名	1件 自治体 30名	来年度予算策定のための問い合わせが増えている状況
12月		2件 教育機関 40名・30名	
1月		1件 自治体 30名	

研修課題・仮説

実証先確保が困難

- ・ 研修予算確保のタイミングが合わない
 - 来年度予算を秋/冬に策定する傾向
 - 教育機関は生徒/学生に対する予算枠のみ持たれている機関が多い
- ・ 女性活躍推進の必要性に対する理解が浅い

ディスカッションが進まない

- ・ 企業研修とは異なり、自身の痛みを伝え合うような文化が整っていない
- ・ 普段からディスカッションする機会が少ないため、考えを表現することが難しい

対応策

- ・ 現時点から来年度の実施に向けて提案をする
- ・ 補正予算等により実施可能で、かつ企画を強く希望されている機関中心に実証ご協力をいただき事例を集める
- ・ 女性活躍支援の必要性を伝える
- ・ 実施実績をご紹介し、上申を協力する

- ・ 参加者を集めていただく企画段階から、弊社が伝えたい「痛みへの共有・個人差があることの理解」を伝えていただくようすり合わせる
- ・ 対話の例や考えるポイントを事前に紹介
- ・ 体験中の対話を促す

今後の予定

11月

12月

1月

教育機関での実施



自治体での実施



成果確認



本補助事業を次のステップに
つなげる活動



参加機関募集

教育機関、自治体（ともに教職員向け）からのご連絡をお待ちしております。
お問い合わせ先：<https://sites.google.com/view/ohc-period/home>